

理事通信

編集&発行・西日本区理事事務局



2026年特別号

◇主題

『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』

“Let’s enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!”

◇副題（スローガン）

『あなたに寄り添う。あなたを忘れない。』

” Stay with you. Never forget you.



2025-2026 年度
西日本区理事 中井信一

◇第 29 回西日本区大会御礼

御参加を頂きました皆様へ

謹啓

時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

此度、第 29 回西日本区大会にご参加を頂き誠に有難うございました。

550 名を超える登録を頂き盛大に式典・懇親会を執り行うことが出来たのは、ひとえに皆様のご協力の賜物であると、心より御礼申し上げます。

『世界中の仲間と YYY ライフを楽しもう』（Let’s enjoy）をコンセプトとして、奈良クラブをホストとし、奈良 YMCA、阪和部の皆様、京都トップスクラブの皆さまにご協力を賜り、天候にも恵まれ、西日本区大会を開催致しました。古都・奈良を舞台に東日本区・西日本区の皆さまに素敵な交流、出会いの機会をご準備できたかと考えております。

至らぬ点もあったかと存じますが、ワイズの友情にてお許しをお願い致します。

結びに皆様に心より感謝申し上げますと共に、今後益々のご健勝とご活躍、そして各クラブのさらなるご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

謹白

『1年間の感謝～Let's enjoy』

1年間、お支えを頂き、心より感謝申し上げます。

理事就任当初は期待と同時に大きな責任も感じておりましたが、役員、委員長、部長、会長、そして各クラブの皆さまからいただいた温かいご支援とご協力のお陰で、何とか1年を終える事が出来ました。私一人の力では到底なし得なかったことであり、この場をお借りしまして深く御礼申し上げます。また、YMCAの皆様には常に温かいご理解とご支援を頂きました。青少年育成や地域奉仕、国際交流など、共通の使命に向かって共に歩むことが出来ましたことを大変嬉しく思います。ワイズとYMCAとのパートナーシップの大切さを各地での活動を通じて改めて実感した1年でした。YYYライフを楽しみました。

第29回西日本区大会へは、550名を超える皆さまに古都・奈良まで足をお運び頂き、心より感謝申し上げます。前夜祭のジャズ・ボーカルの大迫力で開幕。単日開催の大会ではご不便も多々お掛けした事かと考えます。ワイズの友情でお許し頂ければ幸いです。

奈良ナラではの食材を使った懇親会の食事もお楽しみ頂けたかと思えます。懇親会最後のユースのダンス、”ヤングマン (YMCA)”もYYY一体となって盛り上がりました。天気にも恵まれ、皆様とご一緒に大会を無事に笑顔一杯で終える事が出来ました。有難うございました。

理事引継ぎ式では、岡村遍導理事に笑顔でシカとバトンをお渡しする事が出来ました。テーマカラーも奈良のさくら色から、琵琶湖の水色に変わります。引き続き、温かいご支援をお願い申し上げます。皆様に、有難うございました。

2025-2026年度 西日本区理事 中井 信一

理事キャビネット・役員よりメッセージ

「西日本区大会を終えて ～今年一年を振り返って～」



西日本区書記
河合 博之

第29回年次代議員会ならびに西日本区大会も無事に終えることができ、安堵しております。

タイトルは今年一年を振り返ってですが新山理事期、深谷理事期そして中井理事期と連続して西日本区キャビネットを務めさせていただきました。西日本区書記の役割は西日本区の運営全般に携わることで事業に特化した専門的なことを担っているわけではありません。

ただ、西日本区書記のお役目は年4回開催される役員会や代議員会の運営の中心となり、皆さんのご意見を踏まえながら期限、時間内に審議をすすめることができるのが醍醐味です。

また、事業主任や各部長のサポートなども書記の役割に含まれますし、西日本区大会における各活動報告が滞りなく円滑に報告いただくためにオンラインで活動報告ミーティングを何度も繰り返したのが年度を締めくくる思い出となりました。厳しい指導に对应てくださりました事業主任、部長の皆様に感謝です。一年間、ありがとうございました。

第29回西日本区大会を振り返って



西日本区会計
内藤 陽介

まずは第29回西日本区大会を無事終了する事ができました事に、区の役員の間は勿論の事、サブホストの阪和部の一員として御礼申し上げます。

550名を超える参加者の皆さまにお越しいただき、一年間を通してこれだけ多くのワイズメンが集うのは西日本区大会ならではの醍醐味だと改めて実感しました。

前夜祭・区大会当日は、梅雨時にも関わらず天候にも恵まれ、タイトなスケジュールでしたが、参加いただいた皆さまには、貴重な時間を過ごしていただけたのではと思います。

西日本区会計としては、区報で述べさせていただいておりますので、次はびわこで開催される第30回西日本区大会でお会いできる事を楽しみにしております。



西日本区直前理事
鵜丹谷 剛

シカにはじまりシカで終わった第29回西日本区大会。中井理事の思いが詰まった笑顔溢れる楽しい大会でした。実行委員会皆様はじめ、ご準備に関わったすべての皆様へ感謝申し上げます。

昨年に続き短日開催でしたが、式典、西日本アワーに加え、素晴らしい音楽演奏も披露され、創意工夫されたプログラムを堪能しました。やはり奈良ナラ出来る！

直前理事として厳粛なる理事引き継ぎ式の司式進行を務めさせて頂いた事は光栄の至りです。進行にアドリブを挟む時間がなかったのが、やや心残りですが・・・(笑)。また、本当に久しぶりの奈良への旅でしたが、前夜祭会場からの眺望はじめ、随所に悠久の古都を感じさせる壮大な奈良の魅力を再発見。夜が早い奈良との噂もなんのその、前夜祭・大会当日共、存分に奈良ナイトも満喫。両日ともほとんど記憶がなくなる迄楽しんだ事が鮮明に記憶に残っています。

いよいよ、第30代岡村理事期がスタートです。この一年の中井理事期に感謝をし、来たる次年度も西日本区一丸となり大いに盛り上げてまいりましょう。



西日本区次期理事
岡村 遍導

西日本区大会、感動いたしました！中井理事はじめ、大会実行委員長、ホストクラブの奈良クラブ、そして阪和部の皆様、また陰ながら支えられた京都トップスの皆様の真心のこもった大会に、『感激』いたしました。思い起こせば、次期理事として中井理事と共に、「鹿しかいない奈良」、失礼しました！「行くしか(鹿)ない奈良！」と声をあげ、拳を上げ、アピールにお付き合いし、陰ながら応援させていただきました。理事や皆様のその熱い思いが西日本区の皆様の心に響き、伝わり、前夜祭も大会も満員御礼、盛会となりましたことに大変嬉しく思っております。

引継式では、私も久しぶりに大緊張し、何をしたかもハッキリと覚えておりませんが、多くの方から写真や、動画をお送りいただき見させていただきました。見るたびに7月からの西日本区理事としての職責の重さを実感いたしました。引継式にて立会人をお勤めいただきました田上ご夫妻には、心から感謝申し上げます。次期からは30代理事として、中井理事や今までのパスト理事の思いを引き継ぎ尽力し、役員の皆様と共に良き一年になりますよう勤めてまいります。

1年間、色々と感動をお与えくださり、感謝申し上げます。

西日本区大会をおえて～今年一年を振り返って～



西日本区行政監事
深谷 聡

古都奈良での区大会にワイズの伝統と新しい空気を感じることが出来ました。

ワイズには夫々の居場所があり、互いを認め合い友情を広められる国際的な友好団体であります。世界に広がるその価値観こそが私達の財産であり国際平和を実現する手段であると思います。

今期 EMC 活動の成果を感じます。クラブを動かすには人材です。時代に即した考え方、メンバーの確保で我等の将来に希望の光を感じる事が出来ました。この1年間皆で話し合われた議題に真摯に取り組んだ結果であると評価します。

私達が活動で得られた財産は、クラブ、社会、個人、家族に与えられる賜物であると確信します。

変化をする勇氣と継続をする力を胸に、将来の西日本区に希望の光を灯せられたと心より感謝申し上げます。

1年間お疲れ様でした。



アジア太平洋地域会長
西日本区財政監事
田上 正

この一年間はアジア太平洋地域会長、西日本区役員、クラブ書記・ブリテン委員長としての仕事が自分の能力を超え、かつて経験がなかったスケジュールの調整やハードワークの連続でした。おかげで頭を使うことが多く年齢からくる認知も少しは進行が遅れたようです。

国際会議は英語ですから、WEB 英会話レッスンを受けていましたが、時間を自由に使えることを優先して AI tutor による英会話レッスンに切り替えました。何とか会議の内容は7割程度分かるようにはなりましたが、急な意見の発表には苦労しました。英語翻訳アプリや Chat GPT 駆使し、通訳翻訳委員の皆さん、とりわけ地域の書記をしてくださった前田香代子ワイズには大変お世話になりました。ありがとうございました。

西日本区大会ではクラブのバナーを忘れるという失態をしてしまいました。高本二郎会長にはお詫びの申しようもありません。自分のエリア会長就任式をしていただき、逆にいくつかの区の理事交代式やチャータークラブの会長就任式の司式を行うことが出来たのはよい経験でした。皆様のご協力やご支援に感謝いたします。

YMCA サービス・ユース事業主任を終えるにあたり、1年間を振り返っています。



YMCA サービス・
ユース事業主任
山本 一博

各部の部長をはじめ、事業主査、クラブ会長、各地のYMCA主事の皆様とお話させていただいた事は、私にとって大きな経験と喜びとなりました。また、西日本区キャビネットや役員会の皆様との議論は、大変楽しく、また多くの知見に触れることが出来る機会でした。

事業主任としては甚だ力不足でありましたが、皆様からのアドバイスとご協力のお陰で、何とか全うすることが出来たと感謝しております。ありがとうございました。

今後は自クラブに戻り、この経験を後進に伝え、どんどん西日本区の役員を輩出できるような、そんなクラブ運営のお手伝いを続けて行きたいと思います。私の自己研鑽は今後も続きます。

今後とも何卒よろしく願いいたします。

西日本区大会というのは区切りの日だと改めて感じました。ほっとした気持ちになりました。



地域奉仕・環境
事業主任
丹吾 礼

今年1年、たくさんの方からお話を伺いました。周りの華やかな活動と比較するのではなく、自分たちの活動に誇りを持っておられると感じました。クラブ例会の卓話に呼んでいただいたときには、新入会員さんの前向きな気持ちと、それを受け止める先輩会員の姿に心が温かくなりました。

私はYMCAのユースボランティアを経験していますが、大人になっても人前で話すことが苦手です。役員会など話さなければいけない環境で、ずいぶん背伸びもしたけれど、終わってみれば楽しかったです。ワイズに所属してそこで活動することが自己研鑽になるというのはこういうことかなと感じています。

事業主任としては力不足で、至らないところもたくさんありました。周りの方々に教わり、助けていただき、何とか1年を終えることができました。本当にありがとうございました。

この経験を生かすためにクラブや部に戻り、盛り上げてまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



EMC 事業主任
久保田 雅彦

2025-2026 年度、EMC 事業主任として活動させていただきました。ワイズメンズクラブにおける『会員増強』は私たちにとって一刻の猶予も許さない極めて重要な課題であることは言うまでもありません。事業主題『クラブの魅力とメンバー満足度を高めることが会員増強の鍵！！』と掲げ、会員増強の本質を1年間発信させていただきました。

毎年、100名を超える新入会員を迎えている西日本区ですが、それ以上に退会者が多くメンバーが減少し続けているのが実態です。もっともっとクラブの魅力を高め、メンバー全員が満足できるクラブ作りが重要です。

ワイズメンズクラブにおける会員増強の課題は単年度で解決することは出来ません。しかしながら全クラブが EMC 事業から『逃げる』ことなく『真正面から向き合う』ことを心から望みます。

区大会を終えて（みんなで繋ぐ次へのバトン）



国際・交流事業主任
中西 賢一

西日本区の皆さん、先日の西日本区大会、本当にお疲れ様でした！準備から当日の運営まで、それぞれが自分の持ち場で全力を尽くしてくださったおかげで、無事に、そして最高の形で終えることができました。本当にありがとうございました。

大会中、会場にあふれるメンバーの笑顔や楽しそうな交流の様子を見て、「みんなで力を合わせて活動してきた本当に良かったな」と、胸が熱くなる瞬間がたくさんありました。素晴らしい仲間にも恵まれて、一緒にこの節目を迎えられたことを心から嬉しく思っています。

一大イベントを終えてホッと一息ですね。この大会でみんなからたくさんもらったパワーと熱い想いをそのままに、次期へ素敵なバトンを渡していけたら嬉しく思います。

まずは大きな役目を終えられた皆さんに、心からの感謝を込めて。本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしく願います。

部長よりメッセージ



中部部長
清水 淳

西日本区大会では綿密な準備により予定時間よりも早いスムーズな運営に感謝します。

1年前にはあれもこれもやりたいと思っていた部長職でしたが力及ばず思った通りにはできませんでした。しかしながら中部の各クラブは長年の継続的な活動に加え新たなプログラムを行い、部長主題である「Y's for Y&Y (ワイズはYMCAとユースのために)」を具現化しました。名古屋YMCAと富山YMCAの活動とユースリーダーサポートは長年にわたっておりリーダーOBがYMCAにかかわり続けるという理想の形を構築しています。YYYが一体となった活動ができています。

金沢クラブでは地域に密着したCS活動を展開し、清掃奉仕シングルマザー家庭の支援を継続して行っています。今期は日本YMCA同盟横山主任主事をお招きしてYMCAによるウクライナ支援について地域の方々に知っていただくことができました。

地域間移動がネックとなり部内での統一イベントが開催できないのが難しいですが今後いろいろな形で交流していくことを期待します。新クラブの設立についても準備が進んでおり次期の活動も楽しみです。

1年間ありがとうございました。



びわこ部部長
安澤 勝

過ぎ去りし1年はとても早く感じますが、終わってみれば多くの学びと仲間とのつながりをいただけ、とても充実した1年となりました。特に部長公式訪問や入会式などで他クラブの例会に参加する機会があり、自クラブの例会とは一味違った魅力と、ゲストスピーカーによる学びのある例会運営は今後参考にしたいと思っています。

今期のスタートとほぼ同時に、頼りにしていた、やる気満々だった書記さんが体調を崩され、職務を遂行できなくなり部長兼書記の二刀流での1年でしたが、何とか完走することができ、先日部の評議会のあとに岡田次期部長にバトンお預けできました。

十分だったとは思っていませんが、クラブの引継ぎ例会では、今年度の貢献を称え、クラブで最も栄誉ある「シャトー大賞」を頂戴することができました。これからもこの賞に恥じないようにワイズメンとして活動できればと思っています。

さて、次期は岡村理事のもと、大津プリンスホテルで西日本区大会が開催されます。びわこ部の総力をあげて、おもてなしの心をもって皆様をお迎えいたしたいと思っております。



京都部部長
隠塚 功

ステージ上で山下部長から部長バッチを引き継いで早1年。この西日本区大会で寺久保次期部長に部長バッチを引き継がせてもらいました。この一年、中井信一理事を始め、西日本区役員、キャビネットの皆さん、そして事務所の皆さん、お支えいただきありがとうございました。

昨年に引き続き、短日開催となりました西日本区大会。前日の前夜祭、早朝からの役員会、評議会。そしてボリュームいっぱいのお式典。終了後の懇親会と、運営された皆さんは休む間なく大変だったと思います。運営に当たられた阪和部、奈良クラブ、京都トップスクラブの皆さん本当にお疲れさまでした。

私にはバナーセレモニー、部長報告、DBC 締結式、引継式と役割があり、どれにも大きな拍手や声援をいただき、パレスクラブの皆さんからは横断幕まで掲げていただくなど、本当に多くの皆さんに支えていただいた西日本区大会でありました。皆さんのお陰で私にとっては忘れられない西日本区大会となりました。全ての皆さんに感謝します。ありがとうございました。

阪和部長を終えて



阪和部部長
遠藤 通寛

振り返ると1年はあっという間に過ぎていました。次期部長の始まりから準備をした折り鶴プロジェクトは、大変多くの方々の協力を経て、無事長崎の地に献納できたことは、大きな喜びとなりました。また、長崎の教会とも少し繋がりができこれからもこのご縁を続けられそうです。

できるだけ理事のお供をしようとの思いで、すべての部会に参加できました。最後に東日本区大会にも参加することができました。以前より訪れていました。大船渡市、陸前高田市、南三陸町、気仙沼市、松島市の復興の様子を確認して、石巻市まで行くこともできました。部長をさせていただいたお陰だと感謝しています。

全ての活動は西日本区大会に繋がり、阪和部の皆様、そして多大なご尽力をいただいた京都トップスクラブの皆様と西日本区大会を無事終えられたことは、人生の思い出として大切にしていきたいと思っております。

阪和部の第4回評議会も終わり、阪和部役員交代式が滞りなく済み、向井阪和部長にバトンを手渡しました。クラブの皆様にも、1年間お支えいただき感謝申し上げます。



中西部部長
掛谷 太郎

本年度、様々な形で私を支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、先日の西日本区大会におきまして、部長と次期理事のバッジ交換をさせていただきました。部長の大役を終えてほっと安堵したと同時に、次年度からのさらなる重責に身の引き締まる瞬間でした。本年度は私にとって2回目の部長就任ということで、最大の課題は「EMC」であるという認識のもと、1回目の経験を活かしてこれまでとは違った取り組みを模索してまいりました。

他の奉仕団体と比べた際、ワイズメンズクラブの最大の特徴は「ユース」と「YMCA」との連携です。この絆をもっと深めていくことがEMCに直結すると考え、本年度は「YYY フォーラム ～わくWORK フェア～」を開催いたしました。就職という切り口から、ワイズメン、ユース、YMCAの3者の関係をより強固なものにすることで、お互いがWin-Winの関係になれると確信しています。それが社会における3者の価値向上や、ユースのワイズ活動への積極的な参加等につながればと願っております。

次年度は次期部長へとこの思いをしっかりとバトンタッチし、私自身は次期理事としてさらに研鑽を積んでまいりたいと思います。

2025 - 2026 年ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部のふりかえり



六甲部部长
柳 敏晴

今年度六甲部部长を拝命し、YMCAと共に歩む国際奉仕クラブであることを実感する貴重な体験ができ、心より感謝します。

アジア太平洋大会への参加で世界への広がりを感じ、AYC参加者の平和や共生について考え友情と絆を育んだ素晴らしい発表を聞き、次代への希望を与えられました。

六甲部部会では、六甲部のまとまりを示すことができたと考えます。六甲部では、ウェルビーイングを目指し、部則を解り易く体裁を整えるため改訂に取り組みました。

Yサ・ユース事業、地域奉仕・環境事業、EMC事業、国際・交流事業の各事業は、其々着実な活動を続けることができています。

YYYフォーラムで、居場所の意味を共に考え、「きらりと輝くアート展」では、障がいを持つ人々と繋がりが持てる良い機会でした。能登被災地支援チャリティコンサートは、輪島高校と長田高校の交流もあり、石巻広域クラブも参加され、ユース事業への可能性をみることができました。

YMCA サービス事業がメネット委員会と協力し神戸YMCA幼稚園・保育園・関係施設への絵本贈呈プログラムも重要なプログラムです。

総括の西日本区大会では、Y'sの力、ウェルビーイングを実感でき、100周年への希望を感じています。



瀬戸山陰部部長
福永 君二

今期4度目の部長を終え、安堵すると共に力が及ばなかった無念さを感じています。

2007年に米子クラブに復帰して以来、昨期亡くなられた三浦克文メンの導きにより、クラブ会長・瀬戸山陰部各事業主査・瀬戸山陰部部長・西日本区クリスチャニティー委員・同委員長・区報編集委員と走り続けてきました。

三浦克文メンに対し、またワイズメンズ運動に対しどれだけの働きができたのか、反省ばかりが思い浮かびます。

そんな中、故三浦メンが力を注いだ岡山クラブ・YMCAせとうちが、ご子息三浦信彦メンが会長・白鳥雅人メンが新総主事となり、新しい若い力によって生まれ変わろうとしている姿に立ち会うことができ感無量です。瀬戸山陰部4クラブが力を合わせてワイズ運動を盛り立てて行けるよう、その下支えとしてこれからも微力ながら力を注ぎたいと思います。

次期は、久しぶりの米子クラブ会長を拝命します。米子クラブの活性化・会員増強に尽力すると共に、ワイズライフを楽しみたいと思います。

一年間ご協力いただいた皆様に、心より感謝いたします。



西中国部部長
上久保 昭二

アンパンマンは、全ての人に、“思いやりと奉仕”・“配慮と愛”の心をもって接し、平和を願い、世界の子供達に“夢と希望”を与えています。ワイズもそうでありたいという、そんな思いで1年間頑張ってきました。

部長主題は『ワイズの楽しみ、Yとユースと共に』、キーワードは『平和』です。楽しいクラブ例会はもちろん、YMCA活動の支援とユースの成長を共に願い共に楽しむのがねらいでした。『Y's×SDGs ユースアクション2026』では、広島YMCAのユースリーダーがすばらしいプレゼンテーションを実行、広島の誇りともいえる、まさに“平和の使者”でした。

2025年は、被爆80年という広島にとって重要な節目の年であり、広島県・山口県にあるワイズメンズクラブとしても、そのことを自覚し、力と心を合わせて“核兵器も戦争もない平和な世界”につながる活動にチャレンジできました。世界に広がるワイズの根底を流れる“願い”でもあると思います。道のりは遠くても地道な取り組みを今後も続けたいと思っています。

小規模の西中国部ですが、今後とも各クラブの特徴や個性を生かしながら、一人ひとりが大切にされつつ、YMCAの伴走者として進むことができますように祈るばかりです。

あの素晴らしい西日本区大会の感動の余韻を胸にとどめながら、部長の任務を終えたいと思います。本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。



九州部部长
本田 節子

この一年、皆様のご支援をいただきながら無事にここまで進んでこれましたことに、心より感謝いたします。

主題を「楽しく交流をして、地域に貢献しよう」とさせていただきましたが、「楽しく交流」は大いに実行できたのではないかと思います。九州部各クラブの例会に積極的に参加をいたしました。各クラブの歴史と伝統を感じながら、これからのクラブの進み方について共に考える貴重な機会となりました。合同例会もイベントごとに工夫して行われ、それぞれのクラブだけでなく、参加したクラブの交流が進んだことは大変嬉しく思いました。また、九州部以外の部会にも参加させていただきましたが、地域の特徴を肌で感じ、大きな学びとなりました。「西日本区大会」につきましては、これまで参加する側でしたが、部長としてのバナーセレモニーや活動報告、それに自分が所属しております熊本Nスピリットクラブが京都ウイングクラブとのDBC締結式も実施させていただき開催側のご努力を改めて感謝をもって感じました。



メネット委員会報告

<西日本区大会メネットアワーでの学びと交流>



西日本区ワイズメネット
委員会代表 大野 智恵

「メネットの親睦推進」を担う西日本区ワイズメネット委員会のまとめの活動となるのが西日本区大会メネットアワー開催です。今回は、奈良クラブメネット会の皆さんを初め阪和部の皆さんのご協力をいただき、メネット委員会との共催という形でのメネットアワーとなりました。細やかな配慮が随所に見られ、温かな雰囲気の中での有意義な集いとなりましたことに、この場を借りてお礼申し上げます。

東日本区下田クラブメネットでジョイセフ理事の櫻井啓子さんによる「アフガニスタンにランドセルを贈るプロジェクト」についてのご講演には、会場の皆さんは熱心に耳を傾けられ、活動への応援の気持ちとして、55,300円という多額の寄付がありました。「もっとお話を聞きたかった」というお声が多くあり、関心を持ってくださったことを嬉しく思いました。知らないことを知り自分たちにできる活動につなげていけたら素晴らしいと思います。美味しいお弁当をいただきながら周りの方々との交流を楽しみ、来年の再会を約束して閉会となりました。

今年も各クラブ・各部でのメネット活動報告を集約し参加者の皆さんと共有しました。地道な工夫ある活動を継続されていることがよくわかりました。これからもできる範囲で楽しんで活動していかれることを願っています。



女性・選択できる世界を。

JOICFP

公益財団法人ジョイセフ

〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町12-3 AOIビル 3階

Tel: 03-5312-5090 Fax: 03-5312-5087 Web: www.joicfp.or.jp

ご支援いただいたみなさまへ

2026年6月吉日

公益財団法人ジョイセフ

ワイズメンズクラブを通じてのご寄付へのお礼

この度は、アフガニスタンの子どもたちにランドセル・学用品を贈る活動へのご支援を賜り、ありがとうございました。

アフガニスタンでは、2021年8月にイスラム主義勢力タリバンが政府の全権を掌握したと宣言し、女子の中学、高校教育が停止され、2022年12月にはアフガニスタンの全国の公立と私立の大学で、女性が教育を受けることができなくなりました。現在、アフガニスタンの女性の教育の機会は小学校6年間のみとなり、女性が高等教育を受ける機会が閉ざされています。また、唯一許可されている小学校すらも、卒業できる女児は4割にすぎません。

ジョイセフはこの課題に対し、日本での役目を終えたランドセルに、ノートや鉛筆を添えて、アフガニスタンの小学生へ「学ぶ喜び」を届けています。一つひとつのランドセルや、支援くださった皆様の思いが、子どもたちの背中を押し、夢へとつながる架け橋になっています。

改めて、ご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後もジョイセフの活動を通して、アフガニスタンの女性と子どもたちへエールを送ってくださいますよう、お願いいたします。

現在、中東情勢の悪化に伴いランドセルの輸送は一時見合わせている状況ですが、現地で調達した文房具等の配付と保健教材による啓発活動を継続いたします。

これからも、みなさまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



第 29 回西日本区大会実行委員長

濱田 勉

第 29 回西日本区大会を振り返って



最初に、6月13日（前夜祭 6/12）に開催されました第 29 回西日本区大会の全プログラムが無事に終了することができました事を深く感謝申し上げます。

さて、奈良クラブが西日本区大会をホストとして担

うことは、今回が 2 回目となります。前回は、18 年前の大会でしたが、今は亡き神谷理事から「是非とも奈良で開催をお願いしたい」と委員長を依頼され、今は亡き林秀彦ワイズの名誉実行委員長としての強いお支えがあり、その当時の奈良クラブの強力でユニークなメンバー（岩本・杉浦・胎中・辻野・西口・平井・会長内田ワイズ等）が一体となり、西日本区大会を成功裡に終えたことを懐かしく思い出します。そして今回は、中井信一ワイズから理事をするにあたり「奈良での開催・奈良シカない」と依頼され、当時直前会長の水田典男ワイズ（昨年 12 月 6 日に逝去）と林秀彦ワイズ（今年 4 月 22 日に逝去）からも「やろう」との後押しから、奈良クラブのホストと委員長の決定がされた経緯があります。奈良クラブから理事と高井区理事事務局長を輩出している中、高齢化傾向のメンバーが役割を分担して、大会冊子の作成、各会場の交渉、登録作業、事務局作業を精力的に担いましたが、前夜祭の開始時間案内の不備等があり、一部の皆さまにご迷惑をお掛けしました事を深くお詫びいたします。また、今回のタイトな時間の中でのミニコンサートの開催の賛否がありましたが、亡き水田ワイズからピアニストの宮川真由美さんが繋がり、TANGO AISA のミニコンサートと前夜祭の宮川真由美さんの演奏と新井深江さんのゴスペルが大好評であった事も意味深いものを感じます。

大阪サウスは前夜祭の運営、和歌山・大阪河内・大阪長野・大阪泉北・和歌山紀の川の各クラブは、サブホストとして大会受付等の役割を主に担いましたが、ホストとサブホストは、約 1 年半前から計 35 回を超える大会準備委員会を開催して協議し備えました。また、短日開催の大会運営は時間的に非常にタイトですが、なら 100 年会館の大ホール舞台裏の時間運営と裏方作業を協力クラブとして京都トップスクラブの 20 名のメンバーが全面的に担っていただきました。会場の皆さんから画像も含め素晴らしいと評価を頂きました。理事をはじめ区役員の皆様もタイトな時間に工夫とご協力を頂き、特に河合区書記の緻密な準備と役割に敬意を表します。

記載が前後しますが、6/13 午前中にホテル日航奈良で開催された各種会議、メネットアワー等の集いに参加の皆様とその受付等のサブホストの皆様も、ホテルとなら 100 年会館の会場移動にご不便をおかけし恐縮でした。奈良 YMCA の 16 名の皆さんに会場案内の協力をしてもらいました。感謝です。

最後に、西日本区大会にご参加の皆様全員の一体により、素晴らしい大会となったと確信しています。

ありがとうございました。

第29回西日本区大会 写真集

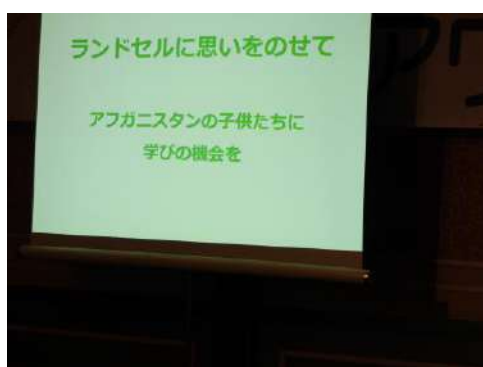
第29回西日本区大会

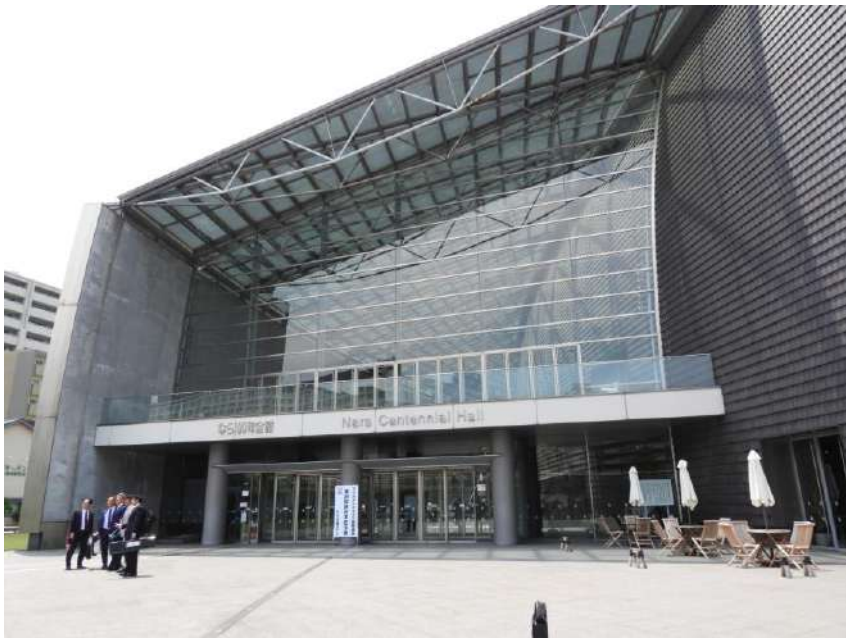
2026年6月13日 in 奈良























理事通信 編集後記

突発的なお願いにもかかわらず、素晴らしい原稿を寄せてくださった執筆者の皆様、本当にありがとうございました。

皆様の言葉に何度も救われた一年でした。力不足な点多々ありましたが、皆様の並々ならぬご協力のおかげで、事務局長という大役を無事に務めることができました。この場をお借りして、一年間のすべてのご縁とサポートに深く感謝申し上げます。